

## 平成30年度 特色ある区づくり事業 委員アイデア及び担当課の考え方一覧(自治協提案)

## 【アイデア】

整理番号	提案委員	内容	経過等	担当部会	担当課	担当課の考え方
1	高橋伸絵委員	<p>【災害があっても負けない区づくり】</p> <p>・防災に関する事業として講演会だけではなく、他の団体とも連携して参加型の企画を提案したい。「楽しみながら学ぶ 災害から身を守る 自助・共助(まるごと)生きる力養成講座」の実施。世代間交流の場としても充実してほしい。</p> <p>・携帯できる緊急時対応リーフレットを作成し、全戸配布する。</p>	新規	第1部会	総務課	
2	佐野委員	<p>【西区ふれあいまつりでの健康、スポーツブースの拡充、または新たに計画する(仮)健康フェスタ】</p> <p>健康寿命の延伸をテーマにしたプロジェクトのひとつとして、西区ふれあいまつりでのブースを拡充し自治協が担当するか、または新たなイベントとして(仮)健康フェスタを開催することを提案します。</p> <p>健康寿命の延伸を目指した健康づくりは喫緊の課題であり、新潟市の計画に協働して取り組むことは、自治協のテーマにふさわしいと思います。</p> <p>自治協で議論するとともに、西区自治協議会が区民の健康のために本気で取り組んでいることをアピールするためにもイベントが必要ではないでしょうか。</p> <p>内容としては、これまで好評の健康福祉課のブースに加え、幅広い世代に受け入れてもらえるような啓発活動、日常生活の質の向上のために取り入れるスポーツ等、誰でも健康について考えることが自然にできるようなものを検討します。</p> <p>健康を考えることが、ワークライフバランスにつながったり、少子化の改善に役立ったりできれば、問題解決の一助となることでしょうか。</p> <p>また、これらの機会にこだわらず、可能な方法でプロジェクトを推進することも考えていきたいと思っています。</p>	新規	第2部会	健康福祉課	
3	高橋由紀子委員	<p>【フロアカーリング普及事業】</p> <p>各地域において自発的な活動が見受けられるフロアカーリングの普及。</p> <p>子供から高齢者まで無理なく楽しめ、オールシーズン可能であり、運動不足になりがちな新潟の冬のスポーツとして取り入れることができ、市が目指す健康寿命延伸の取り組みへとつながる。</p>	新規	第2部会	健康福祉課	

## 【ご意見】

整理番号	提案委員	内容	経過等	担当部会	担当課	担当課の考え方
1		<p>【商店街活性化研究・実践事業の継続・発展】</p> <p>平成28年度から、内野町商店街の活性化の取組が新潟大学、国際情報大学の協力を得て行なわれています。今の取組みではまだ成果は上がらないと思います。様々な事業を考え、商店街や地域住民と協働で実践、様々な失敗や成功を繰り返し、商店街の人たちや地域の人たちを変えていく息長い取組が必要です。全国の成功している商店街振興策から学ぶこと、学生たちも「まちづくりカレッジ」に参加してもらうなど必要ではないでしょうか。一定のお金も使われ、本腰を入れなければ成功はしません。自治協委員になっていただいた国際情報大学の藤田先生はマーケティングが専門とのことなので、一定の予算を組んで研究に取組んでいただけないでしょうか。私自身も、現場に入って取組んでみたいと考えているのですが。</p> <p>あわせて、黒埼の商店街の活性化策の検討に入りたいものです。</p>	H29 実施中	第3部会	農政商工課	
2		<p>【西区特産物・観光地カレンダーの継続】</p> <p>カレンダーを作って3年が経ちます。自治協提案事業は一応3年で終了となります。区民から喜ばれていますし、観光振興は3年の取り組みで成功するわけがありません。もうしばらく継続して欲しいと考えています。</p>	H29 実施中	第3部会	地域課 農政商工課	
3	坂井委員	<p>【私道除雪問題検討事業】</p> <p>私道の除雪問題は、過去の自治協の会議でも様々な議論がされました。しかし、区側の主張—道路法で決められた道路(市道認定された道路)を除雪することが原則であり、これを動かしてはならないと考えている。自治協委員の主張—生活に使っている道路であり、何とかして少しずつでも除雪路線を増やして欲しい。このようにかみ合っておらず、少しずつでも前進していく方向にはなっていません。</p> <p>そもそもの原因は、街の発展に比して都市計画が遅れ、区画整理が行われないうちに住宅が建てられて、あちこちで行き止まりの道ができてしまったことが原因です。そして「行き止まりの道は市道編入しない」という市の方針があります。住民からすれば私道であっても道路にしか使えないのだから、市道にしてもらってもいいのです。上記のような原因から、かなり長い私道が数多くあって、除雪に困っているのです。</p> <p>区の職員は、「自治会で業者に頼んでください」といいますが、建設業者が減少し除雪能力が落ちていることもあって、ほとんど頼りあってくれません。区の建設課の方の話だと、昼間私道を除雪していると、「自宅の前に雪を置いた」と苦情が出て能率が上がらずやりたくないと言っているとのこと。業者からすると、除雪は労力の割に収益があがらないので、あまりやりたくない仕事なのです。入札の際のランク付けの点数に係わるので、市に頼まれば仕方なくやるのです。</p> <p>しかし、現実に区民が困っているのだから、区役所としても解決に労をつくさなければいけないのではないでしょうか。建設業者への依頼、手押しの除雪機による自治会や有償での農家の方などによる除雪、融雪道路の検討、中学校の冬の体育の時間や大雪の際は地域と協力ということで、近所の除雪など検討できなんでしょうか。一万円いる大学生にアルバイトとして力を活用できないか等。自治会役員や様々な方たちもまきこんでの検討会をたちあげられないでしょうか。これは主に防災にかかわる問題ですが、福祉や教育の問題でもあり、交通の問題でもあります。自治協が全部会をあげて検討する必要があると思います。お金はほとんどかかりません。今この点では、区事業として行うコンセンサスが得られない可能性が強いので、自治協提案事業としたいと思っています。新潟市よりもはるかに多い豪雪地帯もあるので、他地域の取組みも調べてみたらどうでしょうか。</p>	再提案	第1部会	建設課	